



令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年2月14日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4097 URL <https://www.koatsugas.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木幹也
問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)池田佳弘 (TEL) 06 (7711) 2570
四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	69,459	2.5	4,543	16.0	5,300	17.6	3,690	20.4
5年3月期第3四半期	67,752	11.4	3,915	5.4	4,503	6.2	3,063	△0.5

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 5,610百万円(91.3%) 5年3月期第3四半期 2,931百万円(0.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	66.86	—
5年3月期第3四半期	55.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	114,368	73,622	63.7
5年3月期	107,506	69,070	63.6

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 72,918百万円 5年3月期 68,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
6年3月期	—	9.00	—	—	—
6年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	3.8	5,700	11.4	6,100	5.0	4,100	4.0	73.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

6年3月期3Q	55,577,526株	5年3月期	55,577,526株
6年3月期3Q	373,728株	5年3月期	373,494株
6年3月期3Q	55,203,898株	5年3月期3Q	55,204,058株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第3四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復の動きがみられたものの、中国経済の先行き懸念や不安定な国際情勢のなか、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、円安を背景とした物価上昇などの影響により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は694億59百万円（前年同期比2.5%増加）、営業利益は45億43百万円（前年同期比16.0%増加）、経常利益は53億円（前年同期比17.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億90百万円（前年同期比20.4%増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、原材料の供給制限が緩んできたものの、鉄鋼、自動車、化学、半導体、建設など仕向け先全般において、需要回復が鈍く、厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境のなか、当事業ではシリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善を目指し、生産・販売体制の見直しを行ない、地域に密着した営業に努めてまいりました。また、カーボンニュートラル社会の実現に向け、環境負荷の低い液化アンモニアや水素ガス等の供給網整備に継続して取り組んでおります。

『溶解アセチレン』は、建設及び土木関連の現場向け出荷数量が減少したものの、造船業界向け出荷数量の回復と原材料価格の上昇による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、酸素、窒素、アルゴンが充填所及び大手ユーザー向けに需要が減少、炭酸が製造メーカーの生産量の減少に伴う出荷制限、LPガス等は需要の減少により出荷数量はそれぞれ減少しました。売上高ではLPガス等が輸入価格の下落に伴う販売価格の低下により減少しましたが、各種原材料価格の上昇による価格改定を実施し、前年同期並みとなりました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『容器』は、半導体及び一般工業用向け容器の出荷数量が減少したものの、原材料価格の上昇による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は508億82百万円（前年同期比2.3%増加）となりました。営業利益は44億94百万円（前年同期比5.7%増加）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、原材料の供給面は安定してきましたが、依然として原材料価格やエネルギー価格の高止まりが続く厳しい状況で推移しました。

このような事業環境のなか、当事業では仕向け先への製品の安定供給に努め、また、新しい技術の開発に注力し、環境配慮型水性接着剤や高耐候性塗料など環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが紙用の新製品開発により販売が増加しましたが、土木建築用・塗料用の需要が減少しました。シアノンが欧米向け高機能品の需要が増加しましたが、アジア・南米向けの需要が減少しました。ペガロックが中国向け弱電用がロックダウン解除により需要が回復しましたが、国内向けが住宅設備関係の需要が減少しました。接着剤全般の売上高は、原材料価格の上昇に伴う価格改定もありましたが、前年同期を下回りました。『塗料』は、外装用高機能品の「ビーズコートシリーズ」の伸長、防水需要の回復、海外向け工業用の伸長がありましたが、建築汎用塗料は戸建改修の需要低迷により販売が減少しました。また、エアゾール製品は需要が減少しました。塗料全般の売上高は、原材料価格の上昇に伴う価格改定もありましたが、前年同期を下回りました。『その他』は、化成品取扱い商品が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は157億69百万円（前年同期比0.7%増加）となりました。営業利益は9億75百万円（前年同期比40.8%増加）となりました。

③ その他事業

その他事業は、LSIカード関連及び食品添加物の需要が増加し、価格改定もあり前年同期を上回り、売上高は28億7百万円（前年同期比18.3%増加）、営業利益は10百万円（前年同期は56百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ68億62百万円増加して1,143億68百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、売上債権が増加し前連結会計年度末に比べ20億88百万円増加して、620億86百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価の値上がりと有形固定資産が増加したことにより前連結会計年度末に比べて47億74百万円増加し、522億82百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億10百万円増加して407億46百万円となりました。流動負債は、仕入債務の増加があったものの1年内返済予定の借入金の返済により前連結会計年度末に比べ10億41百万円減少し、274億33百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債の増加と長期借入金の融資実行により前連結会計年度末に比べ33億52百万円増加し、133億12百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ45億52百万円増加して736億22百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、令和5年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,260	27,665
受取手形及び売掛金	21,644	21,068
電子記録債権	5,742	6,813
商品及び製品	3,445	3,465
仕掛品	757	819
原材料及び貯蔵品	1,835	1,780
その他	370	521
貸倒引当金	△58	△47
流動資産合計	59,998	62,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,993	12,618
機械装置及び運搬具（純額）	4,347	4,227
土地	15,296	15,302
建設仮勘定	2,052	4,750
その他（純額）	1,238	1,224
有形固定資産合計	35,927	38,122
無形固定資産	593	600
投資その他の資産		
投資有価証券	9,731	12,261
繰延税金資産	192	137
その他	1,146	1,241
貸倒引当金	△83	△81
投資その他の資産合計	10,986	13,558
固定資産合計	47,508	52,282
資産合計	107,506	114,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,294	12,441
電子記録債務	8,624	8,654
短期借入金	1,205	1,265
1年内返済予定の長期借入金	1,120	136
未払法人税等	926	531
賞与引当金	1,456	703
その他	3,847	3,700
流動負債合計	28,474	27,433
固定負債		
長期借入金	7,743	10,146
退職給付に係る負債	83	67
役員退職慰労引当金	23	18
繰延税金負債	1,400	2,376
その他	710	704
固定負債合計	9,960	13,312
負債合計	38,435	40,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	59,097	61,739
自己株式	△200	△200
株主資本合計	64,593	67,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,632	5,380
為替換算調整勘定	168	276
退職給付に係る調整累計額	15	25
その他の包括利益累計額合計	3,816	5,682
非支配株主持分	659	704
純資産合計	69,070	73,622
負債純資産合計	107,506	114,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	67,752	69,459
売上原価	49,846	50,570
売上総利益	17,905	18,888
販売費及び一般管理費	13,990	14,344
営業利益	3,915	4,543
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	265	278
為替差益	94	121
受取手数料	64	64
その他	374	405
営業外収益合計	805	878
営業外費用		
支払利息	21	34
その他	196	87
営業外費用合計	217	122
経常利益	4,503	5,300
特別利益		
投資有価証券売却益	119	223
特別利益合計	119	223
特別損失		
投資有価証券売却損	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	4,622	5,515
法人税、住民税及び事業税	1,285	1,536
法人税等調整額	237	246
法人税等合計	1,522	1,782
四半期純利益	3,100	3,733
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,063	3,690

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	3,100	3,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△451	1,759
為替換算調整勘定	271	108
退職給付に係る調整額	10	9
その他の包括利益合計	△169	1,876
四半期包括利益	2,931	5,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,895	5,556
非支配株主に係る四半期包括利益	36	53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,721	15,659	2,371	67,752	—	67,752
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	49,721	15,659	2,371	67,752	—	67,752
セグメント利益 又は損失(△)	4,250	692	△56	4,886	△970	3,915

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△970百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,882	15,769	2,807	69,459	—	69,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	50,882	15,769	2,807	69,459	—	69,459
セグメント利益	4,494	975	10	5,480	△936	4,543

(注) 1 セグメント利益の調整額△936百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。